

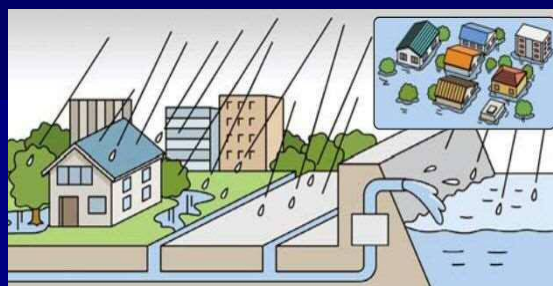
江別市下水道事業について

江別市水道部下水道施設課
平成29年8月2日

1. 下水道の役割



1. 快適で衛生的な生活環境を実現します。



2. 浸水から街を守ります。

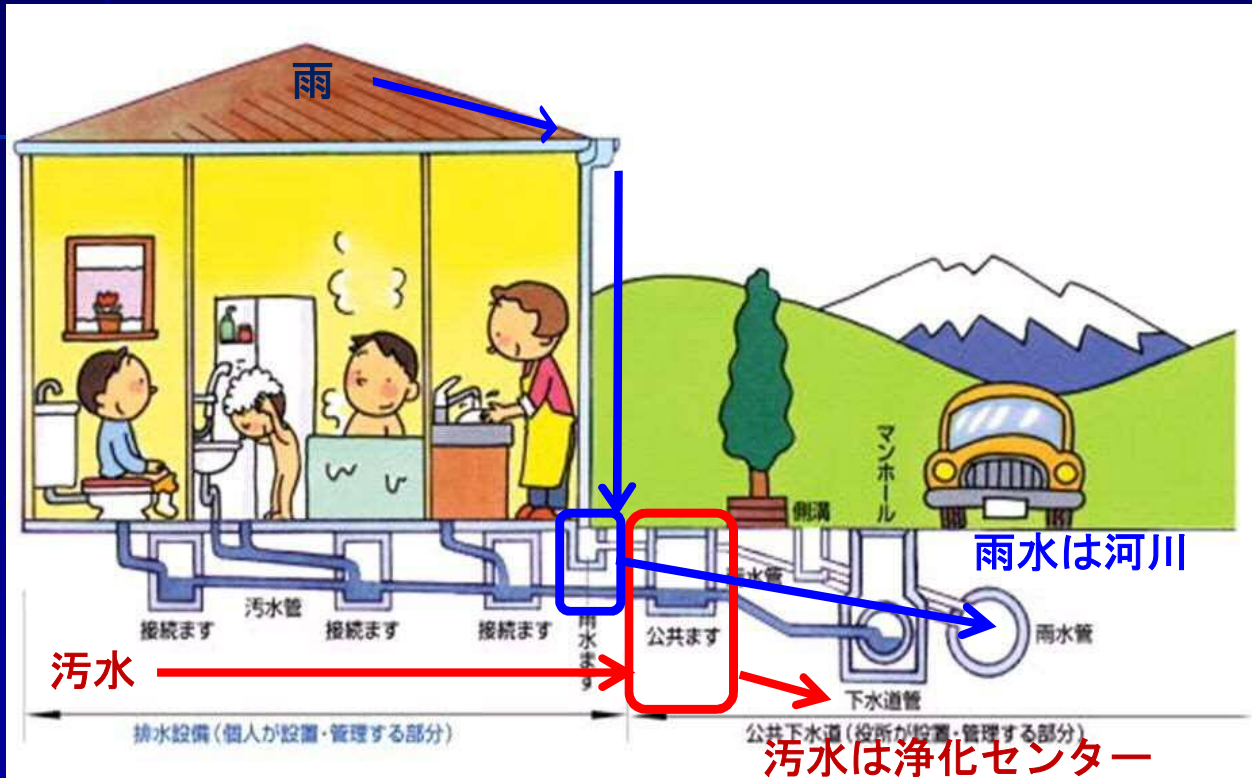


3. 水環境を守ります。

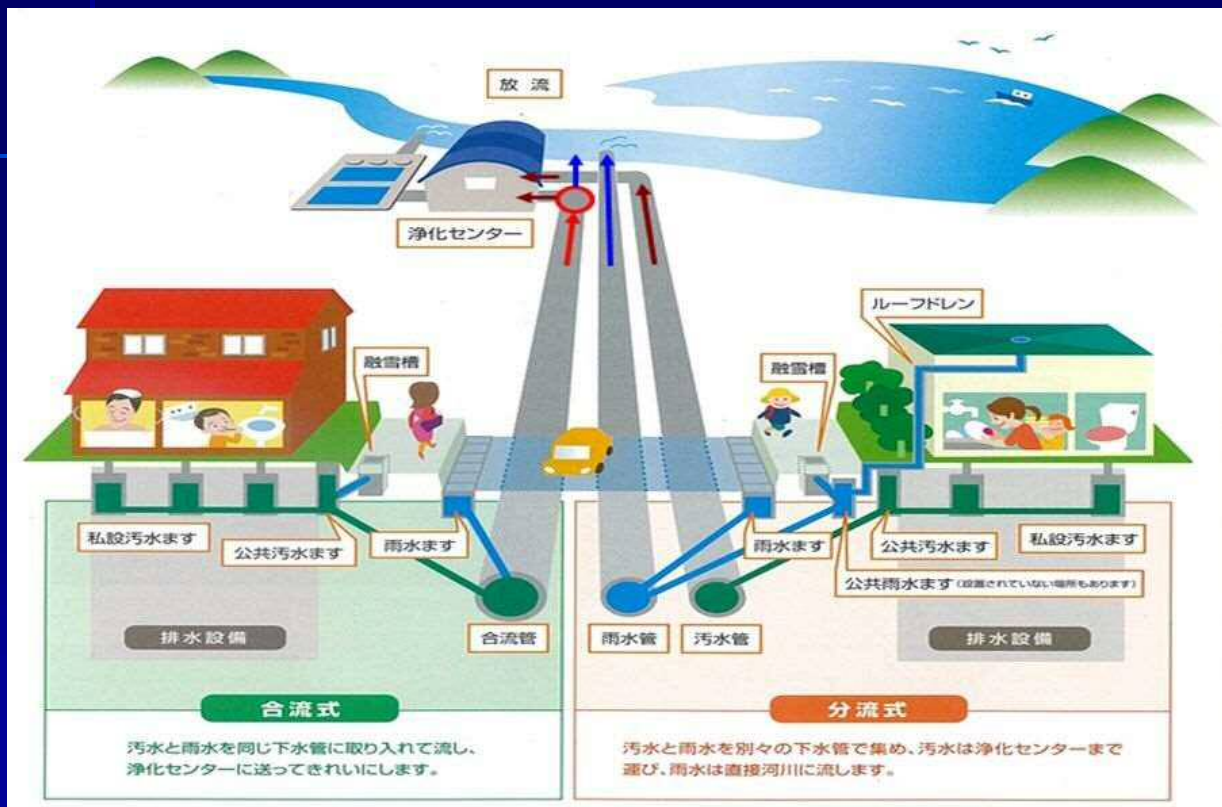


4. 資源の有効利用をしています。

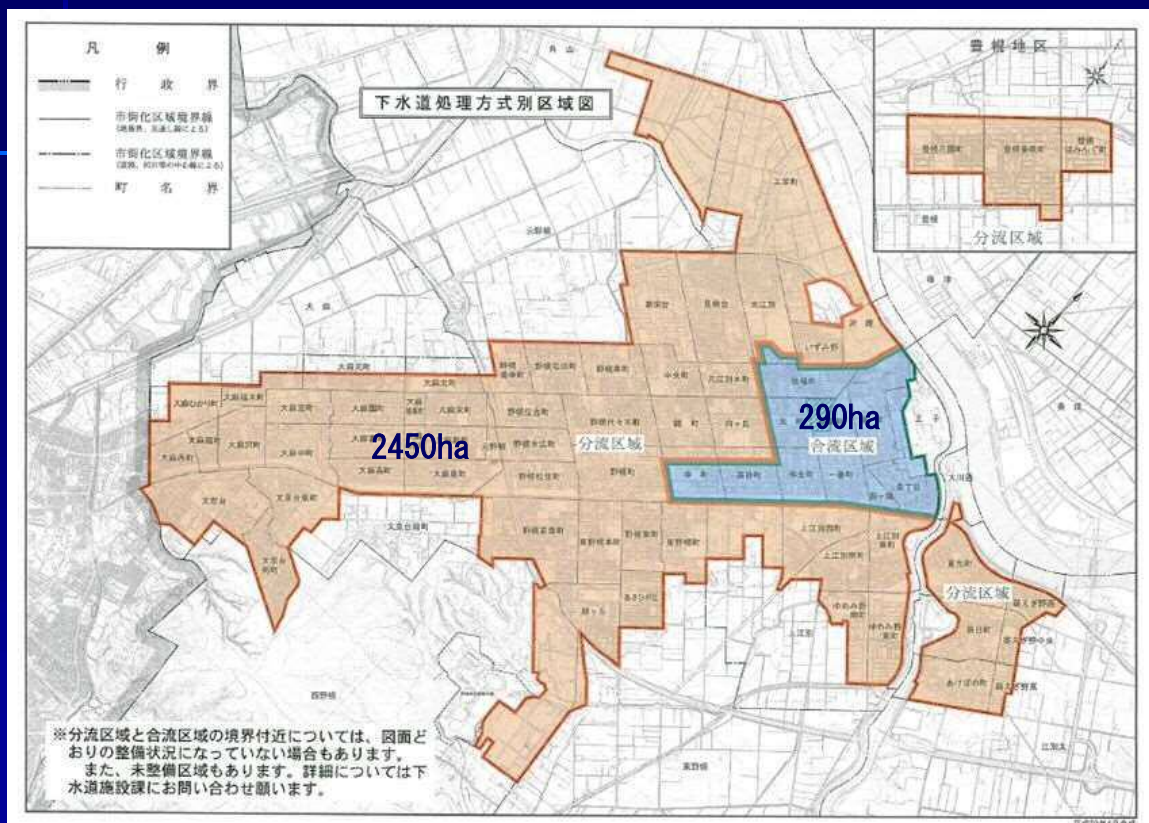
2. 下水道のしくみ



3. 汚水の処理方式 合流と分流



4. 分流・合流式下水道区域



5. 江別市下水道事業の沿革

年 度	主 な 記 事
昭和39年度	道営大麻団地を契機に大麻地区で下水道事業を開始（分流式）
昭和41年度	江別市公共下水道として江別地区で下水道事業を開始（合流式）
昭和48年度	江別終末処理場が運転を開始（平成2年より浄化センターと呼称）
昭和50年度	水道水源汚濁防止のため南幌町の污水受入れを決定
昭和59年度	江別駅前地区に流雪溝を整備することを決定（～平成2年）
平成8年度	合流地区浸水対策で雨水貯留管・増強管の整備を決定（～平成14年）
平成12年度	資源有効活用として消化ガス発電設備を整備
平成18年度	合流式下水道改善計画／放流水水質改善事業を開始（～平成22年）
平成23年度	野幌駅周辺土地区画整理事業に伴う污水・雨水管布設工事開始
平成29年度	大麻地区で污水管の改築・更新工事開始

6. 下水道処理区域と主な施設



7. 下水道の整備状況（H29.3月末）

汚水処理面積	約	2,435ha
下水処理区域内人口		115,748人
水洗化人口		115,140人
下水道普及率		97.5%
下水道水洗化率		99.5%
下水道管路延長	約	856km
	内訳	
	汚水管	約 488km
	合流管	約 57km
	雨水管	約 311km

8. 下水道の課題 ①

<老朽管の改築更新>

①老朽管（50年以上経過した管路）が増加 ⇒ 管内カメラ調査の実施



②破損・腐食状態の把握 ⇒ 改築（管更正）または更新（布設替）



「下水道管の延命を目指す」

木の根侵入



ひび割れ



管内カメラ調査の画像

管更正工事の状況

9. 下水道の課題 ②

<老朽設備の改築更新>



1.多段ターボブロウ



2.汚水ポンプ



3.雨水ポンプ



4.ガス発電機

10. 下水道の課題 ③

<短時間局地的集中豪雨への対応>



近年、下水道施設の能力をはるかに超える短時間局地的集中豪雨が発生しており、その対応が課題となっています。

11. 下水道BCPの策定

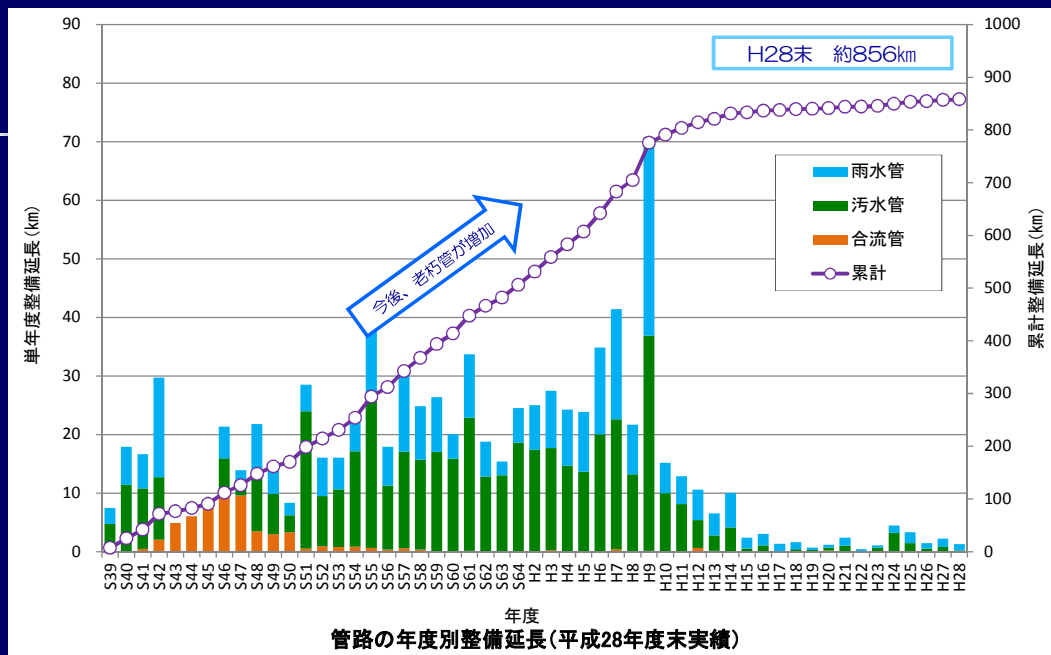
平成28年度に「江別市下水道事業業務継続計画（下水道BCP）」を策定いたしました。

計画の目的は、大規模地震による災害の影響によって下水道の機能（業務レベル）が低下した状況においても、事業の継続が可能（最低限の機能は確保する）な状態に抑えるとともに回復時間を最大限短縮させて、下水道事業を継続させていくことです。今後は「下水道BCP」の定着をめざしていきます。

◎6つの目標

- ① 人命の保護
- ② 応急対策活動の保護（交通機能の確保）
- ③ 生活環境の保全（トイレの使用の確保）
- ④ 公衆衛生の確保（水系伝染病等の抑制）
- ⑤ 浸水の防除
- ⑥ 公共用水域の水質保全

1 2. 今後の下水道事業経営



今後、耐用年数（50年）を越える下水道管が増大し、改築更新に多大な費用が必要になるため経営が厳しくなっていきます。

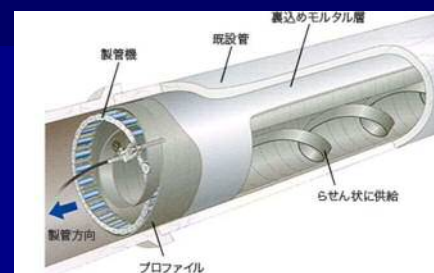
1 3. 現在の取り組み

下水道更新工事

平成29年度から大麻地区で着手し、平成33年度の5か年で総延長約7.9kmの下水道管を改築更新します。



年度別施工区域



管更生



敷設替

14. おわりに

当市において、下水道管の布設替工事は初めての事業です。新設工事にくらべ、施工上の制約も多いことを予想しております。

そのため、下水道の使用や交通規制等、市民の皆さまにはご迷惑とご不便をおかけする可能性があります。職員・施工業者ともに『迅速』かつ『正確』な施工を目指してまいります。

今後とも江別市水道部へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました



水道庁舎